

「品質管理レビューの概要」(冊子)に関するアンケート結果

2022年10月

I 目的

2022年度「品質管理レビューの概要」等の作成の参考とするために実施

II 方法

上場会社(監査役等)、レビュー対象監査事務所及び協会関係学識者に対し、アンケート用紙を「品質管理レビューの概要」(冊子)に同封し郵送

公認会計士社外役員ネットワーク正会員(以下「CPA社外役員」という。)に対しては、メールにてアンケート協力を依頼

回答は、協会ウェブサイト、FAX、電子メールで提出

※ 8月下旬にアンケート協力の再依頼メールを配信

III 提出期間

2022年7月1日から2022年8月31日まで

IV 対象及び回答数

アンケートの対象者及び対象者の種別ごとの回答数は、下表のとおりである。

	発送数	回答数	回答率(%)
上場会社(監査役等)	3,876	197	5.1
CPA社外役員	1,632	6	0.4
機関投資家	0	0	0
レビュー対象監査事務所	218	69	31.7
協会関係学識者	20	4	20.0
合計	5,746	276	4.8

※参考：昨年度

発送数	回答数	回答率(%)
3,849	233	6.1
1,409	21	1.5
879	9	1.0
209	66	31.6
21	5	23.8
6,367	334	5.2

V 回答方法

利用されたアンケートへの回答方法は、下表のとおりである。

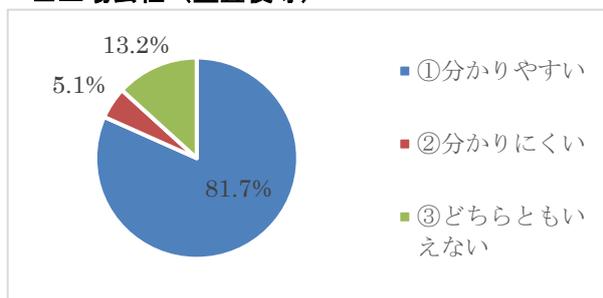
	Web	メール	郵送	FAX
上場会社(監査役等)	189	5	0	3
CPA社外役員	6	0	0	0
機関投資家	0	0	0	0
レビュー対象監査事務所	65	2	1	1
協会関係学識者	4	0	0	0
合計	264	7	1	4

VI アンケート項目

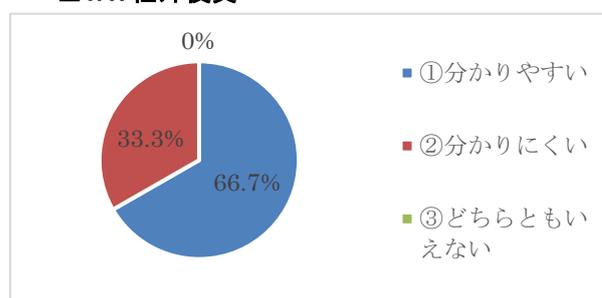
Q 1 全体を通して、「本冊子」の記載内容は分かりやすいと思われたでしょうか。（共通質問項目）

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
① 分かりやすい	161	4	65	3
② 分かりにくい	10	2	0	0
③ どちらともいえない	26	0	4	1
合計	197	6	69	4

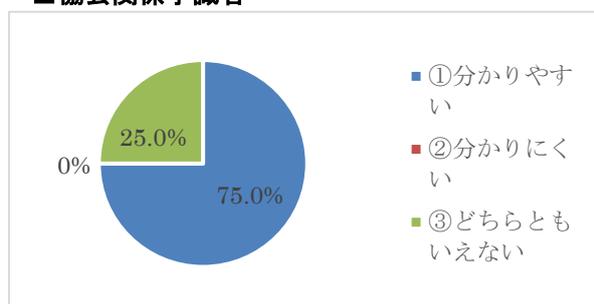
■上場会社（監査役等）



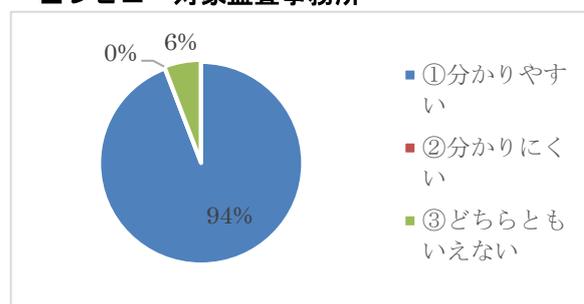
■CPA 社外役員



■協会関係学識者



■レビュー対象監査事務所



【総評】

Q 1について「分かりやすい」と回答した上場会社（監査役等）の割合は81.7%（197名中161名）、レビュー対象監査事務所の割合は94.0%（69名中65名）、CPA社外役員の割合は66.7%（6名中4名）であった。

なお、「分かりにくい」と回答した割合は全体として低い一方で、「どちらともいえない」と回答した割合が全体で11%程度あった。

Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）

()内の数字は回答率

※青色（赤色）の網掛けは、各対象者上位3位（1位）

選択肢	上場会社 (監査役等)		CPA 社外役員		レビュー対象 監査事務所		協会関係学識者		
	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	
第一部	①日本公認会計士協会について	158 (98.7%)	2 (1.3%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	44 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
	②自主規制団体としての日本公認会計士協会の取組	142 (93.4%)	10 (6.6%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	44 (97.8%)	1 (2.2%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)
	③品質管理レビュー制度等	160 (90.9%)	16 (9.1%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	50 (92.6%)	4 (7.4%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)
	④上場会社監査事務所登録制度	135 (91.2%)	13 (8.8%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	47 (97.9%)	1 (2.1%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)
	⑤公認会計士・監査審査会との関係	139 (89.1%)	17 (10.9%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	47 (97.9%)	1 (2.1%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)
第二部	①品質管理レビューの実施状況及び実施結果	144 (86.2%)	23 (13.8%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	56 (96.6%)	2 (3.4%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)
	②通常レビューにおける改善勧告事項	140 (85.9%)	23 (14.1%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	56 (96.6%)	2 (3.4%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)
	③上場会社監査事務所名簿等の状況	133 (91.7%)	12 (8.3%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	44 (97.8%)	1 (2.2%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)
	④今後の行動計画	123 (84.2%)	23 (15.8%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	43 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)
合計	1,274 (90.1%)	139 (9.9%)	35 (74.5%)	12 (25.5%)	431 (97.9%)	12 (2.1%)	19 (76.0%)	6 (24.0%)	

「分かりやすい」と評価された項目として、上場会社（監査役等）及びCPA社外役員からは、第一部「③品質管理レビュー制度等」、の項目において、レビュー対象監査事務所及び協会関係学識者からは第二部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」において、特に高い割合を占めている。

また、レビュー対象監査事務所からは、「分かりやすい」と評価された項目は全てで9割を超えている。

一方、上場会社（監査役等）からは第二部「④今後の行動計画」について、CPA社外役員及びレビュー対象監査事務所からは第一部「③品質管理レビュー制度等」について、協会関係学識者からは第一部「④上場会社監査事務所登録制度」について、一定数「分かりにくい」と評価されている。

Q2に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである。

※通番の黄色の網掛けは、肯定的コメント

通番	Q2に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
1	会計監査人の品質管理レビューの全体概要の把握とともに、特に改善勧告事項の多い項目についての報告は大変参考になります。

通番	Q 2 に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
2	外部からみると、会計士という閉じた社会の中での取り組みに見えてしまいます。実態は客観性を持たせた取り組みだと思いますので、目的・参加者・結果などを透明性をもって分かりやすく公表されると正しく理解出来るのではないかと思います。
3	文章の段落がハッキリしており、表や図、データ等ビジュアル的に工夫されて、見易くなっている。

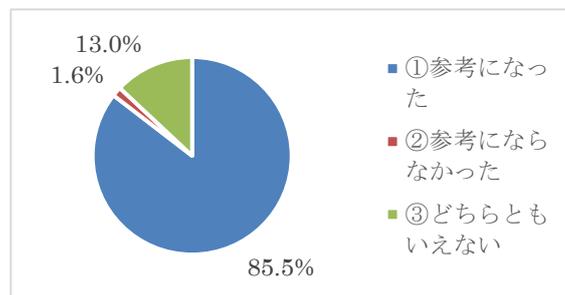
通番	Q 2 に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
1	会計士の目線から見ると全体的にわかりやすいと思います。一般の方から見るとわかりにくいと思います（専門用語が多い）。 本冊子の読者ターゲット、読者の前提知識のレベルをどこに置かかでわかりやすさは異なると考えます。
2	分かりやすいと思った項目は、多くの専門用語を用いて説明せざるを得ない内容を、いずれも多くの図表を使って説明されており、一般の読者が理解しやすいように工夫されていると感じました。

通番	Q 2 に対して寄せられた主なコメント（協会関係学識者）
1	体系が示されていないので、全体像の把握が容易でないと感じました。

■上場会社（監査役等）のみ質問項目

Q3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、会計監査人とのコミュニケーションに当たり、参考となりましたか。

選択肢	上場会社 (監査役等)
①参考になった	165
②参考にならなかった	3
③どちらともいえない	25
合計	193

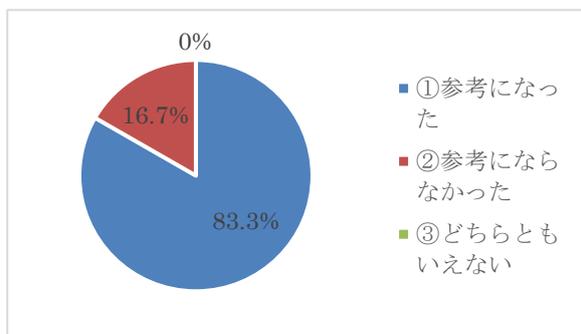


■CPA 社外役員・協会関係学識者への質問項目

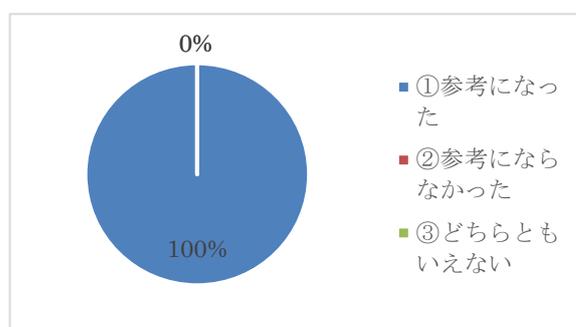
Q3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、品質管理レビュー制度の概要と結果の理解に当たり、参考となりましたか。

選択肢	CPA 社外役員	協会関係 学識者
①参考になった	5	4
②参考にならなかった	1	0
③どちらともいえない	0	0
合計	6	4

・ CPA 社外役員



・ 協会関係学識者

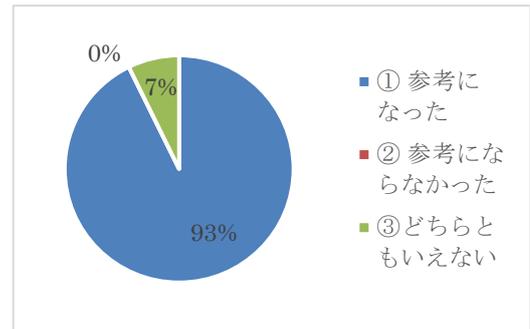


■レビュー対象監査事務所のみ質問項目

Q3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、参考となりましたか。

選択肢	レビュー対象監 査事務所
① 参考になった	64

② 参考にならなかった	0
③ どちらともいえない	5
合計	69



■上場会社（監査役等）のみ質問項目

Q4 会計監査人とのコミュニケーションに当たり、特に参

考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）

■CPA 社外役員・協会関係学識者への質問項目

Q4 品質管理レビュー制度の概要と結果の理解に当たり、特に参考になった項目は何ですか。該当する項

目に○をご記載ください。（複数選択可）

■レビュー対象監査事務所のみ質問項目

Q4 品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目

は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）

※黄色の網掛けは、各対象者上位2位

選択肢		上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
第一部	①日本公認会計士協会について	45	4	9	0
	②自主規制団体としての日本公認会計士協会の取組	48	4	20	0
	③品質管理レビュー制度等	121	4	44	2
	④上場会社監査事務所登録制度	53	4	25	2
	⑤公認会計士・監査審査会との関係	76	3	24	1
第二部	①品質管理レビューの実施状況及び実施結果	134	4	45	3
	②通常レビューにおける改善勧告事項	108	4	45	2
	③上場会社監査事務所名簿等の状況	37	4	13	0
	④今後の行動計画	47	4	13	0
合計		669	35	238	10

上場会社（監査役等）は、第一部「③品質管理レビュー制度等」及び第二部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」を、会計監査人とのコミュニケーションに当たり参考になった項目として挙げている。

レビュー対象監査事務所は、第二部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」及び「②通常レビューにおける改善勧告事項」を、品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目として挙げており、その他の回答の属性からも同様の傾向が見受けられる。

また、全ての回答の属性において、第2部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」が特に参考となったと回答を得ている。

Q4に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである。なお、協会関係学識者からのコメントなかった。

※通番の黄色の網掛けは、肯定的コメント

通番	Q4に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
1	監査法人から品質管理レビューを受けて結果問題ないと言われてもそれがどの程度のことかわからなかったが、「通常レビューにおける指摘事項の状況」で品質管理レビューの結果の状況が少しだけわかった。
2	品質管理レビュー制度、および品質管理レビューと金融庁の監査審査会との関係が明確に記載されており、監査スタッフの理解が深まり、監査法人から品質管理レビューに関する説明を受ける際の参考になります。

通番	Q4に対して寄せられた主なコメント（CPA 社外役員）
1	協会の広報誌か？と思うような素人向けの冊子という印象。 本気で監査や品質管理に取り組んでいる現場の立場から見ればここ10年全く協会の検討が進まず右往左往しているだけという印象。

通番	Q4に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
1	監査役等とのコミュニケーションの基礎資料として参考になります。 ただ監査役等の会計監査に係る知見のレベルは幅があるため、場合によってはクライアント担当業務執行社員がかなりの時間をかけて説明をする必要があります。 監査役等への説明に際しては、図を中心にイメージをもってもら必要がありますが、そうすると協会の公表物としては説明不足になってしまうというジレンマがあると思います。イメージ図と文章がバランスよく配分されていると監査役等への説明資料として有用だと思います。
2	今後、品質管理レビュー制度に関して知見のない監事に対して、品質管理レビュー制度について説明する機会が多くなる当法人にとって、非常に有用な冊子であり、有効に活用させていただきます。

Q5 年次報告書（本冊子等）を作成し公表していますが、毎年度、読まれていますか。

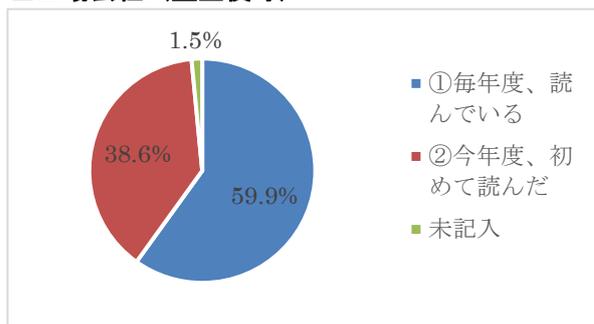
なお、2021年度の年次報告書（本冊子等）が掲載されている協会ウェブサイトは次のURLとなります。

<https://jicpa.or.jp/about/activity/self-regulatory/quality/>

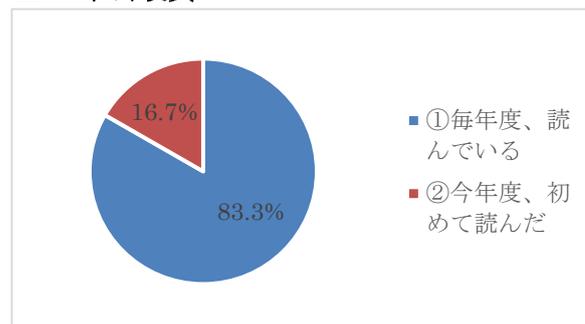
（共通質問項目）

選択肢	上場会社 （監査役等）	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
①毎年度、読んでいる	118	5	64	4
②今年度、初めて読んだ	76	1	5	0
未記入	3	0	0	0
合計	197	6	69	4

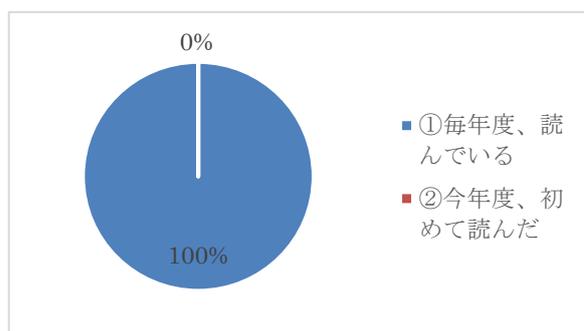
■上場会社（監査役等）



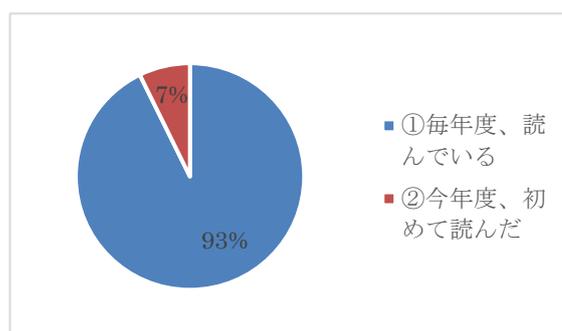
■CPA 社外役員



■協会関係学識者



■レビュー対象監査事務所



「毎年度、読んでいる」と回答した上場会社（監査役等）の割合は59.9%（197名中118名）であり、昨年度から0.2ポイント減少しているものの一定の割合で年次報告書が読まれていることが分かった。

レビュー対象監査事務所においては、「毎年度、読んでいる」と回答した割合が、93.0%（69名中64名）であり、年次報告書は認知されるとともに、レビュー制度の理解の一助となっていると推察される。

なお、全体としても昨年「毎年度、読んでいる」と回答した割合は69.1%であったが、今年「毎年度、読んでいる」と回答した割合は69.2%と微増している。

Q6 「本冊子」及びその補足資料として作成されている「2021年度 品質管理レビューの概要（資料編）」について、改善すべき点等、ご意見、ご要望があればご記載願います。（共通質問項目）

上場会社（監査役等）から21件、レビュー対象監査事務所から12件の意見、要望があった。

主な意見・要望は、以下のとおりである。

※通番の黄色の網掛けは、肯定的コメント

通番	コメント例（上場会社（監査役等））
1	サイバーセキュリティインシデントなど、新たなリスクなどへの対応など示してもらいたい。
2	協会の取り組みが良く分かり、また、監査法人とのコミュニケーションにも役に立つ資料だと思います。
3	品質管理レビューの概要については、会計監査人からの報告を理解するうえで役に立つ。その他の事例集については具体的な事案が発生した時には役立つとは思いますが、そうでない場合には全部に目を通すことも時間的に困難なのと目を通してそれが具体的な業務に役立つものではないので、どこにどのような資料があることを記憶にとどめるだけになってしまう。
4	数字等の情報が記載されていますが、その数字等の意味するところの解説があると理解が進むものと思います。

通番	コメント例（レビュー対象監査事務所）
1	年々記載内容が向上していると思いますが、毎年構成を見直す必要はないと思います。かなり完成度は高いと思われますので、次年度以降はしばらくこの構成を継続し、数年にわたって趨勢が把握し易くしていただくことも良いかと思えます。
2	「本冊子」と「2021年度 品質管理レビューの概要（資料編）」と連携して読めるように、相互参照ページを記載していただきたく要望します。
3	改善勧告事項に係る根本原因について、もう少し具体的に例示を掲げて頂ければ良かったと思います。全体的には大変分かりやすかったと思います。
4	監査法人や会計士以外の方にも読みやすいようにする工夫・配慮が感じられ、大変わかりやすいと思います。弊法人内でも、研修資料の一つとして、使わせていただいております。

以 上